縁

この地球上で、この場所で
こうして出会えた奇跡に感謝
こうしてかかわり合うことが
できる縁を大事にしましょう

平戸市立大島中学校
令和元年度学校だよりＮｏ１１
令和元年８月２１日
文責　校長　吉尾直樹

ふるさと大島、平戸の未来を考えました

８月７日　平戸市こども議会

平戸市子ども議会が行われ、本校から３名の生徒が提言を行いました。

現在の３年生が２年生の社会科の授業で「ふるさと大島のこれから」について考えた身近な地域の学習をもとに、さまざまな方策を考えました。その中から、大島を訪れた人が安らげるとともに地域の人とも交流できる場として海が見えるカフェをつくろうという「海が見渡せるカフェプラン」、人口を増やすために平戸市と大島村をリンクさせた婚活をおこなう「Love婚大作戦」について提言しました。どちらもこれからもたくさんの人に大島村に住んでほしいという願いが込められた意見でした。黒田市長や市の各部局の方から丁寧に回答いただき、さらにこんなこともできるのではと考えも深まりました。また提言の際はフリップを示すなど、分かりやすく内容を伝える工夫を行うなど、堂々としたすばらしい発表でした。

平和への思いを深める学習の場となりました

８月９日　人権学習集会(平和集会)

８月９日の県民祈りの日に平和集会を行い、「戦争がなぜ起こるのか」「原爆はなぜ投下されたのか」について、さまざまな資料をもとに意見を述べ合いました。

さまざまな要因が複雑に絡み合うことなので考えるのは難しいですが、それぞれが自分なりに考え、意見を述べることで、「今の自分に何ができるのか」を考えました。平和な社会をつくるために、私たちができることはたくさんあります。まさしく「微力だけど無力ではない」のです。

そして、11時2分に黙とうを行った後、ピースメッセージに思いを込め、平和集会を終わりました。

あなたはどんな思いを短冊に込めましたか。

力強い走りや打球、精神力を肌で感じました

７月27、28日　県中総体陸上・ソフトテニス競技

県中総体陸上競技に男子6名、ソフトテニス競技女子個人戦に１ペアが出場しました。厳しい暑さの中で、最後まで粘り強く走り、打つ姿に、今までの汗や努力を感じました。よく頑張りました。

この夏休みにも朝から全校生徒で懸命に走っています。こうした積み重ねの中で、子どもたちは、健康な身体づくりとともに粘り強い精神力を培っています。あきらめない、前向きな姿勢が大島っ子の特徴と言えるのではないでしょうか。残る夏休みにも学校に来て走り、部活動や学習会に進んで取り組んでください。**「今日という１日は、明日という日の２日分に値する」**ベンジャミン・フランクリン（政治家/アメリカ）